

実践『ペルソナ』通信 (No. 24)

「実践女子大生のリップコスメに対する意識」に関する調査結果

～「ピンク」を現在使用している生徒が4割以上、リップにかかる費用は「2000円以内」が約7割～

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「リップコスメに対する意識」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は49サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大生は、現在どのようなカラー、タイプのリップコスメを使用し、何をポイントに購入しているのか、月に使える金額と比較して調査を進めました。49サンプルの実践女子大生から回答を得ました。

リップコスメの使用カラーの現状について、最も多かったのは、「ピンク」が（40%）と最も高い割合となりました。以下、「赤」（31%）、「オレンジ」（17%）、最も少なかったのが「プラム」（1%）との結果となりました。また、月に自由に使えるお金が「1～3万円」の学生は1000円以下に抑える割合（45%）が一番高く、「4～5万円」の学生は、1001円～2000円のリップを買う割合（40%）と2001～3000円の割合（40%）が同率となりました。「6～10万円」の学生は、1001～2000円の割合（38%）が最も高い結果となりました。

リップの費用と月に使える金額との関連性は特に見られませんでした。金額に関わらず、1001～2000円のリップを買う学生が多く、ブランドを重視して購入している学生は（2%）で、ブランドは気にしていない傾向が見られました。

調査結果のポイント

(1) 実践女子大生の72%が赤色系統のリップを愛用中。

現在愛用しているリップカラーが「ピンク」の人が（40%）であった。また、「赤」が（31%）であった。しかし、同じく赤系統である「プラム」を使用している学生はわずか（1%）の結果となった。

【図 1-1】 【図 1-2】 【図 1-3】 【図 1-4】

(2) リップを購入する際、「色」を重視する学生が47%と回答。

リップコスメを購入する際、「色を重視する」が(47%)およそ半分の割合を占めた。次いで、「価格を重視」(30%)であり、「デザイン」(11%)と「機能性」(10%)はほぼ同率となった。「ブランド」を重視して購入する学生は全体の(2%)という結果となった。【図 2-1】【図 2-2】

(3) 6万円以上月に自由に使えるお金があっても、53%の学生が2000円以下で購入と回答。

月に自由に使えるお金がある学生全員を対象として、自由に使えるお金とリップ一個にかかる金額との関係をみると、月に自由に使えるお金が「1~3万円」の学生は1000円以下で購入する割合(45%)が一番高く、「4~5万円」の学生は、1001円~2000円のリップを買う割合(40%)と2001~3000円の割合(40%)が同率となった。「6~10万円」の学生は、1001~2000円の割合(38%)が高い結果となった。【図 3-1】【図 3-2】【図 3-3】

(4) オシャレに気を遣っている学生92%、ファッション誌を定期的に見ている学生37%という回答から、オシャレには気を遣っているが、ファッション雑誌を参考にしている学生は半数に満たないことが分かった。

オシャレに気を遣っているかとファッション誌を定期的に見ているかという関係から、化粧時間どのような変化があるかみたところ、「オシャレに気を遣っている」と答えた学生が(92%)いるのに対し、「ファッション誌を定期的に見ている」と答えた学生は、(37%)であり、半数にみたなかった。また、その結果「ファッション雑誌を定期的に見ている」と答えた学生で「10分以内に化粧を終わらせる」学生はいなかった。また、おしゃれに気を使っていない学生の半数(50%)が「10分以内に化粧を終わらせている」ことが分かった。【図 4-1】【図 4-2】【図 4-3】【図 4-4】

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：実践女子大生3年生(渋谷キャンパス在学)
2. 調査方法：質問紙によるアンケート
3. 調査期間：2016年5月9日~2016年5月30日
4. 有効回答者数：49人【実践女子大学生：学年】3年：100%

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 上村 真由

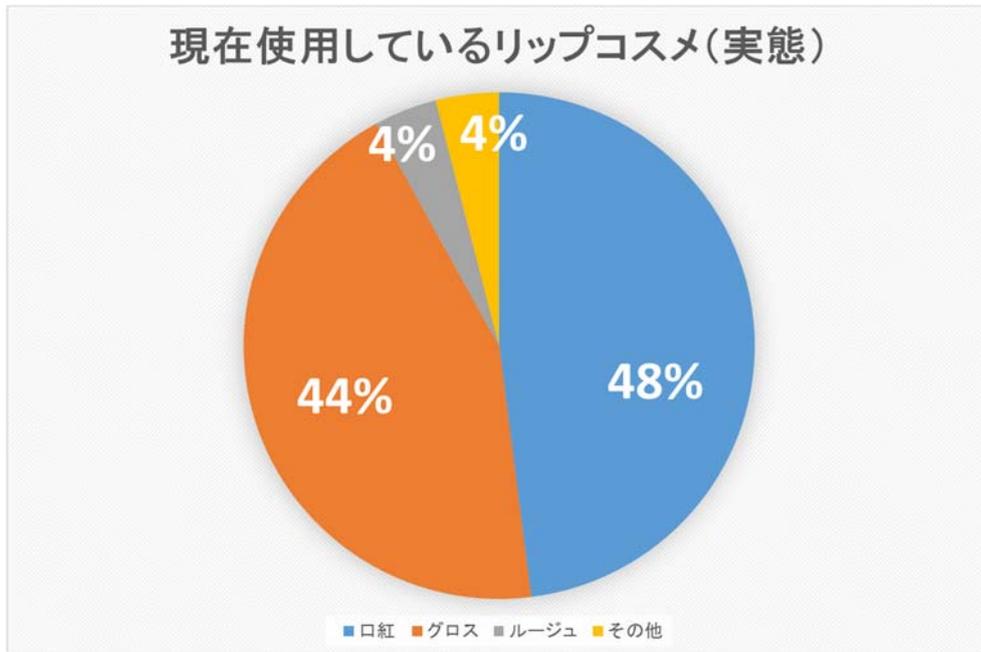
3年 梶原 南美

3年 小柴 優希

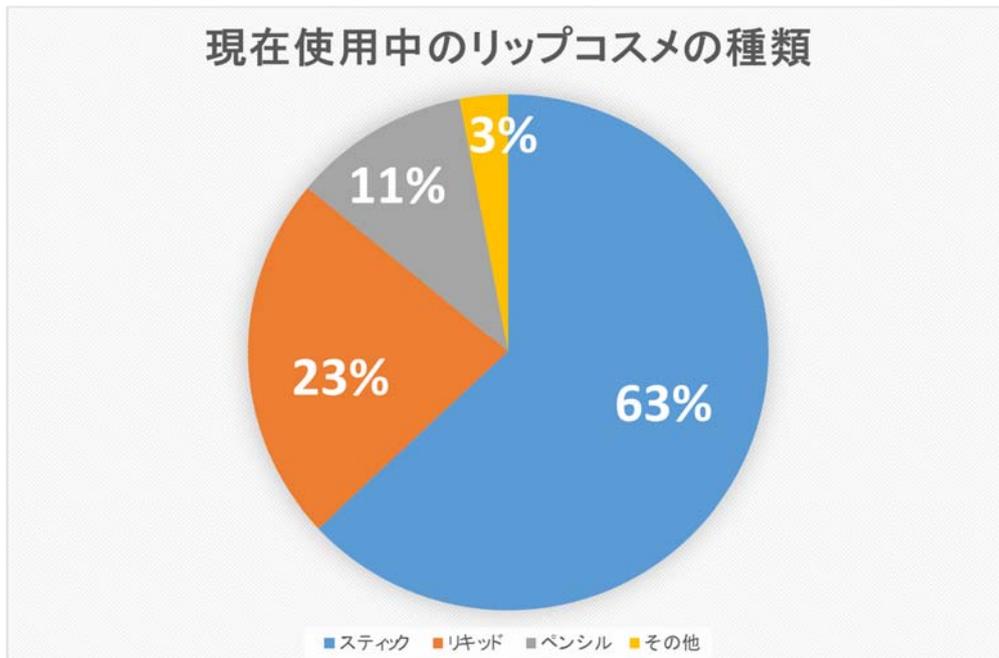
(1) 実践女子大生におけるリップの使用実態（形態）

現在使用しているリップコスメの実態として、口紅を使っている学生が（48%）、グロスを使っている学生が（44%）、「ルージュ」を使っている学生が（4%）「その他」が（4%）となった。また、現在使用しているリップコスメの種類は、「スティックタイプ」が（63%）「ペンシルタイプ」が（11%）「リキッドタイプ」が（23%）「その他」が（3%）という結果になった。

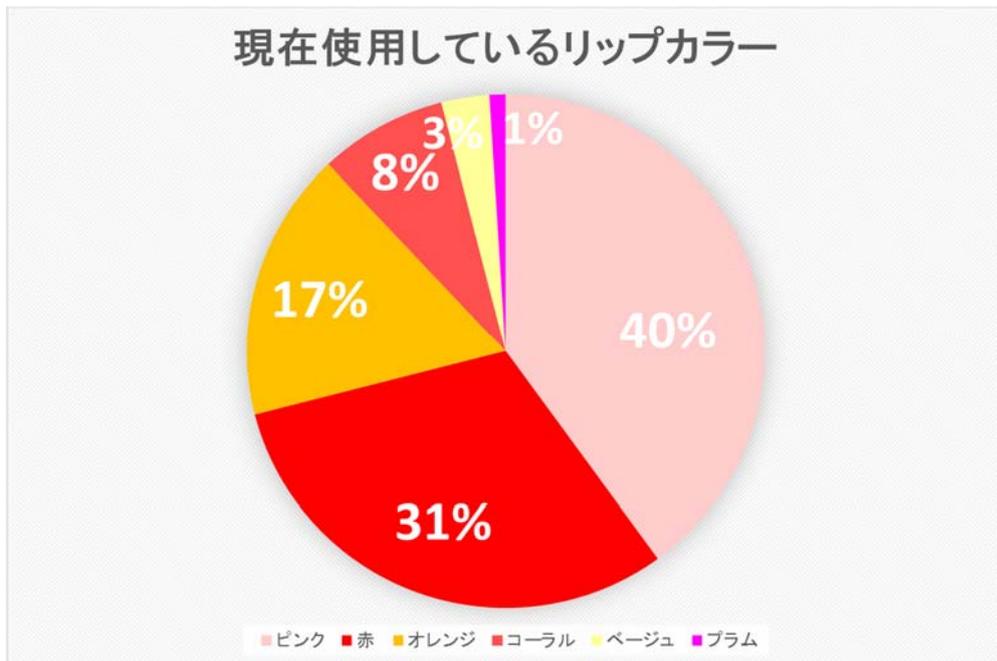
【図 1-1】 実践女子大生におけるリップコスメの使用（実態）（n=49）【MA】



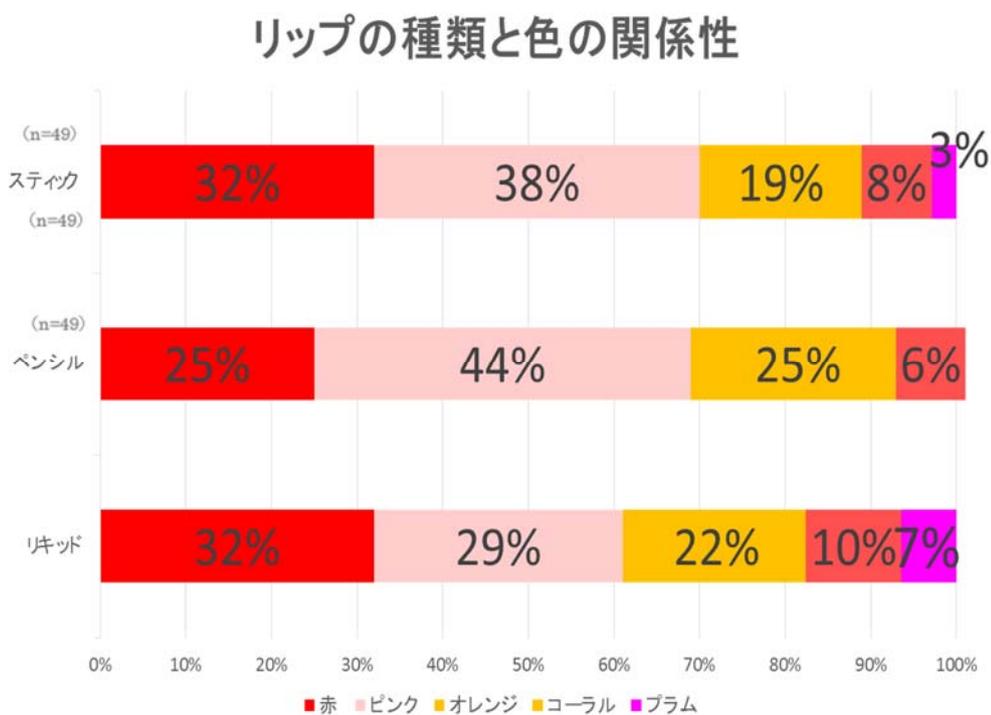
【図 1-2】 実践女子大生における現在使用中のリップコスメの種類（実態）（n=49）【MA】



【図 1-3】 実践女子大生が現在使用しているリップカラー（実態）（n=49）【MA】



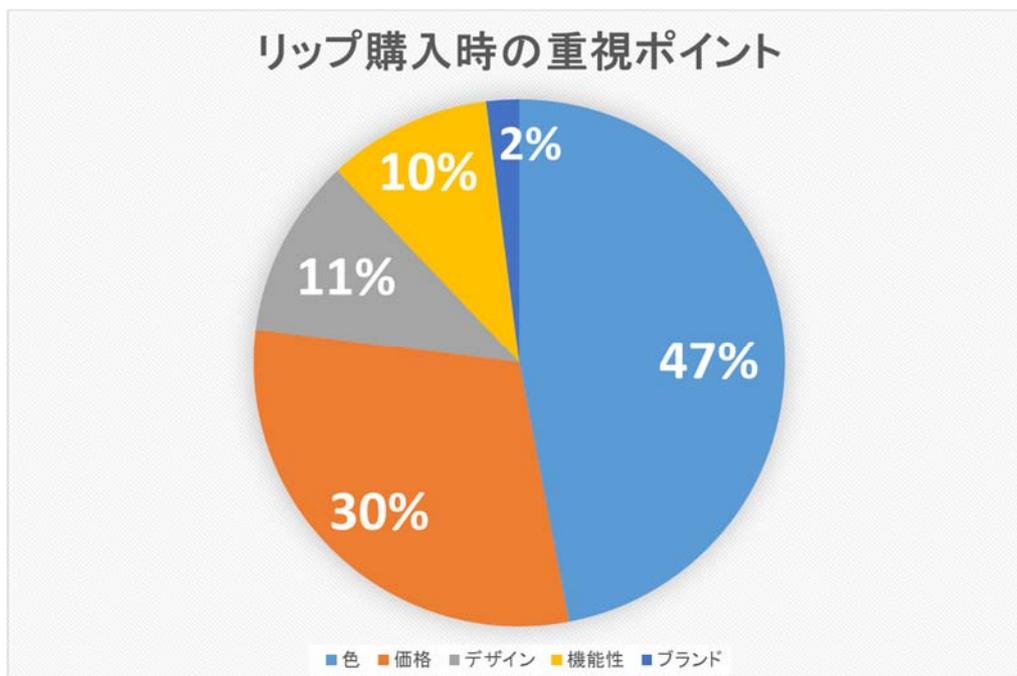
【図 1-4】 実践女子大生が使用しているリップの種類と色の関係性（n=49）



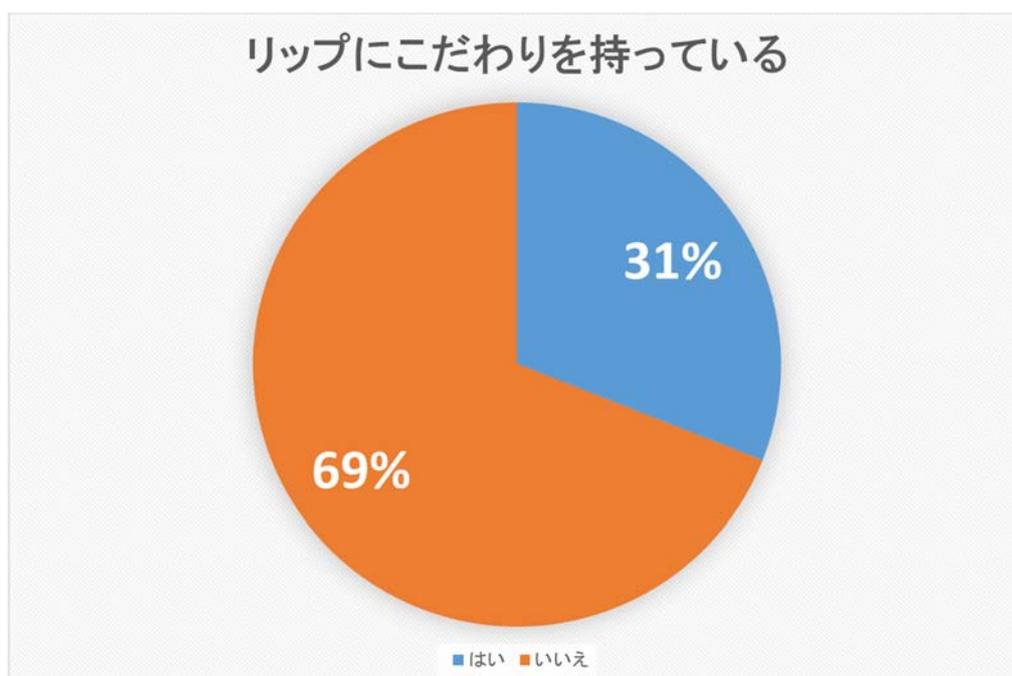
(2) 実践女子大生におけるリップを購入する際に重視するポイントの使用実態

全体では、リップコスメを購入する際、「色を重視する」が（47%）およそ半分の割合を占めた。次いで、「価格を重視する」（30%）、「デザイン」（11%）と「機能性」（10%）はほぼ同率となった。ブランドを重視して購入する学生は全体の（2%）という結果となった。

【図 2-1】 実践女子大生におけるリップの購入重視ポイント（実態）（n=49）【SA】

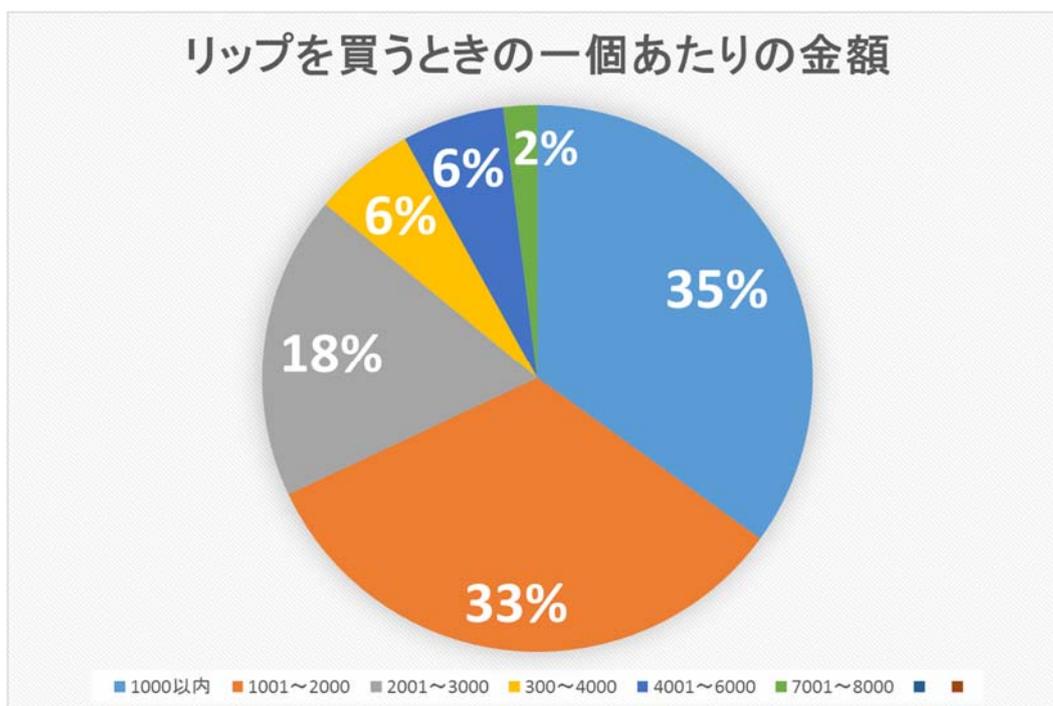


【図 2-2】 実践女子大生におけるリップにこだわりを持っている（実態）（n=49）【SA】

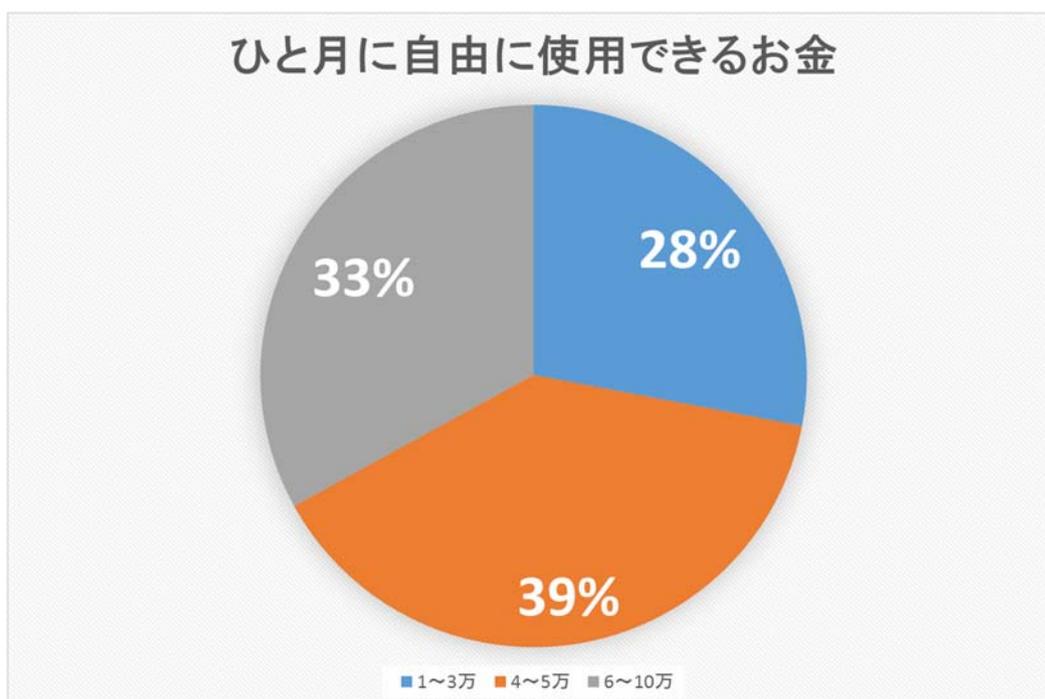


(3) 実践女子大生におけるリップ一個を購入する際にかかる金額と一月に使用できる金額の使用実態
 月に自由に使えるお金がある学生全員を対象として、自由に使えるお金とリップ一個にかかる金額との関係をみると、月に自由に使えるお金が「1~3万円」の学生は1000円以下に抑える割合が（45%）が一番高く、「4~5万円」の学生は、1001円~2000円のリップを買う割合（40%）と2001~3000円の割合（40%）が同率となった。「6~10万円」の学生は、1001~2000円の割合（38%）が最も高い結果となった。

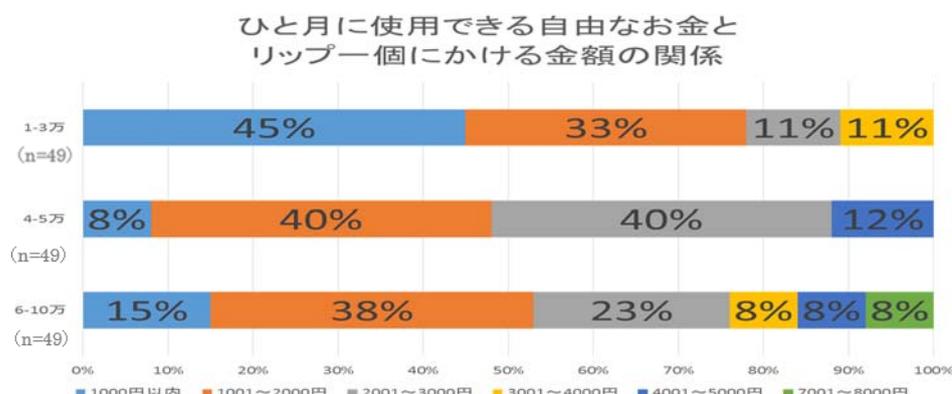
【図 3-1】 実践女子大生における一個当たりのリップの金額（n=49）【SA】



【図 3-2】 実践女子大生における月に自由に使えるお金（実態）（n=49）【MA】



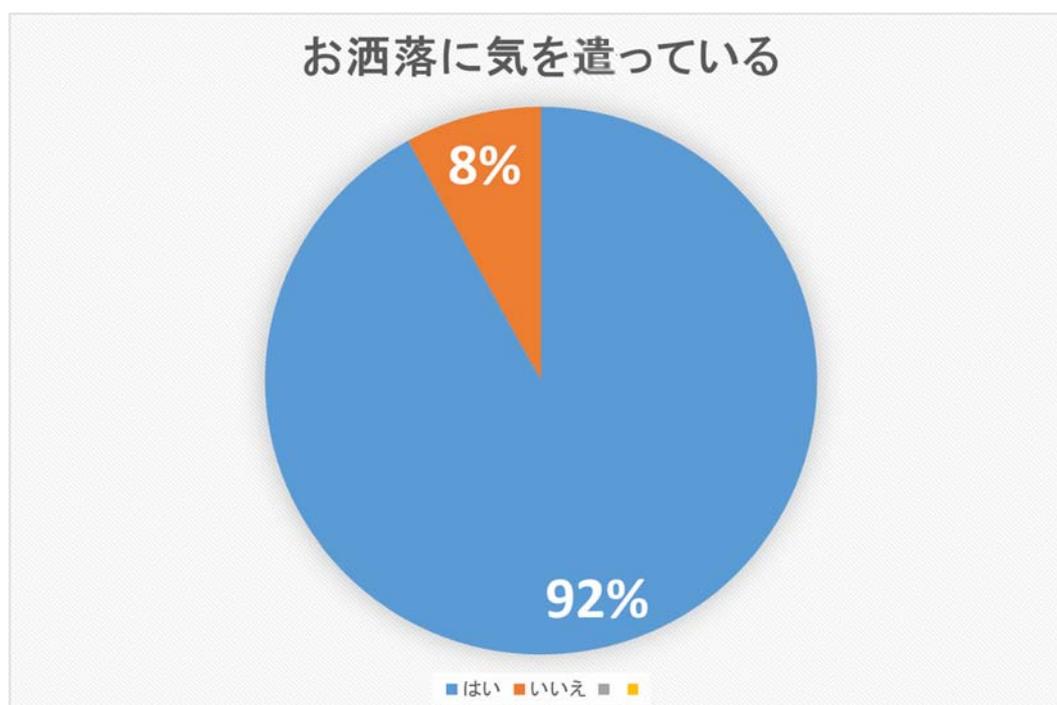
【図 3-3】 実践女子大生が自由に使用できるお金とリップ一個あたりにかける金額の関係 (n=49)



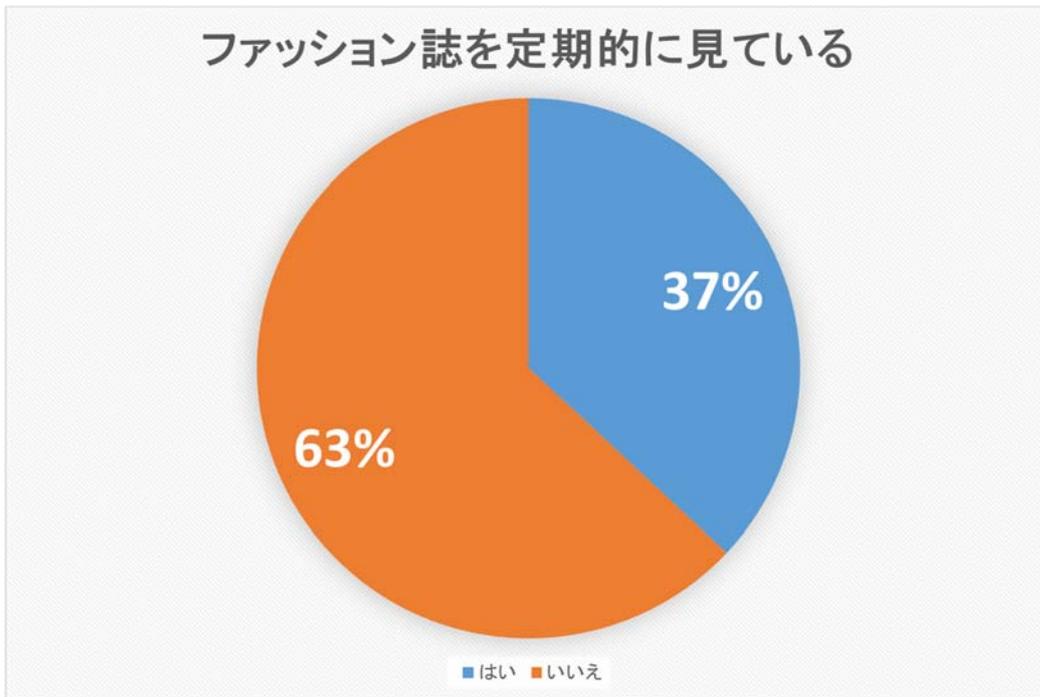
(4) 実践女子大生における身だしなみの使用実態

オシャレに気を遣っているかとファッション誌を定期的に見ているかという関係から、化粧時間にごどのような変化があるかみたところ、「オシャレに気を遣っている」と答えた学生が(92%)いるのに対し、「ファッション誌を定期的に見ている」と答えた学生は、(37%)であり、半数にみたなかった。また、その結果「ファッション雑誌を定期的に見ている」と答えた学生で「10分以内に化粧を終わらせる」学生はいなかった。また、おしゃれに気を遣っていない学生の半数(50%)が「10分以内に化粧を終わらせている」ことが分かった。

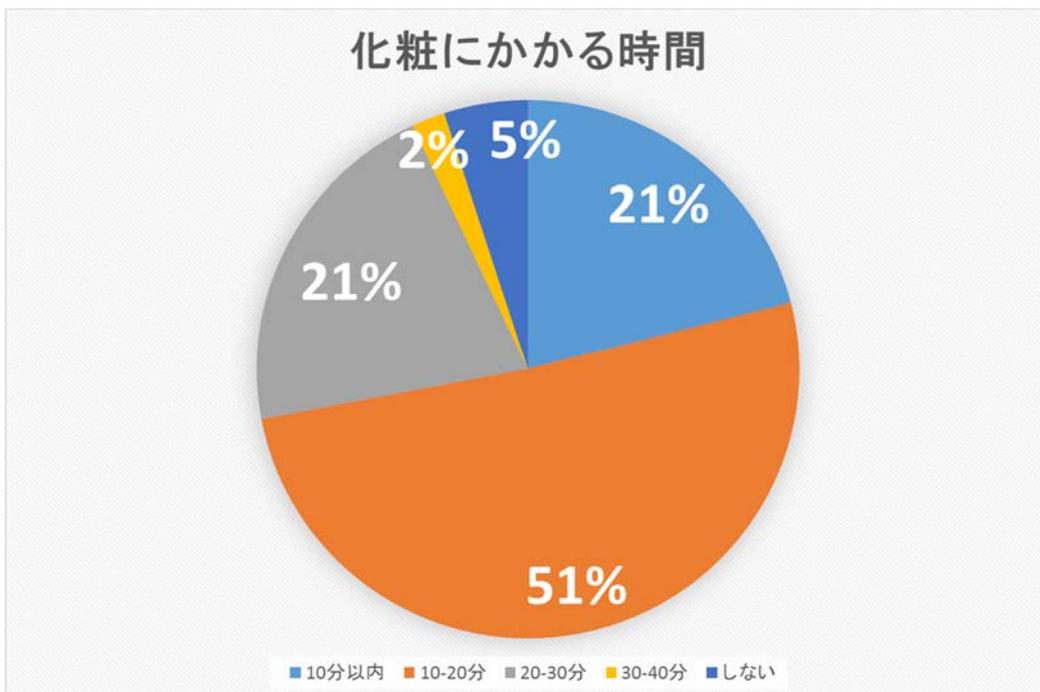
【図 4-1】 実践女子大生におけるおしゃれに気を遣っているか (実態) (n=49) 【SA】



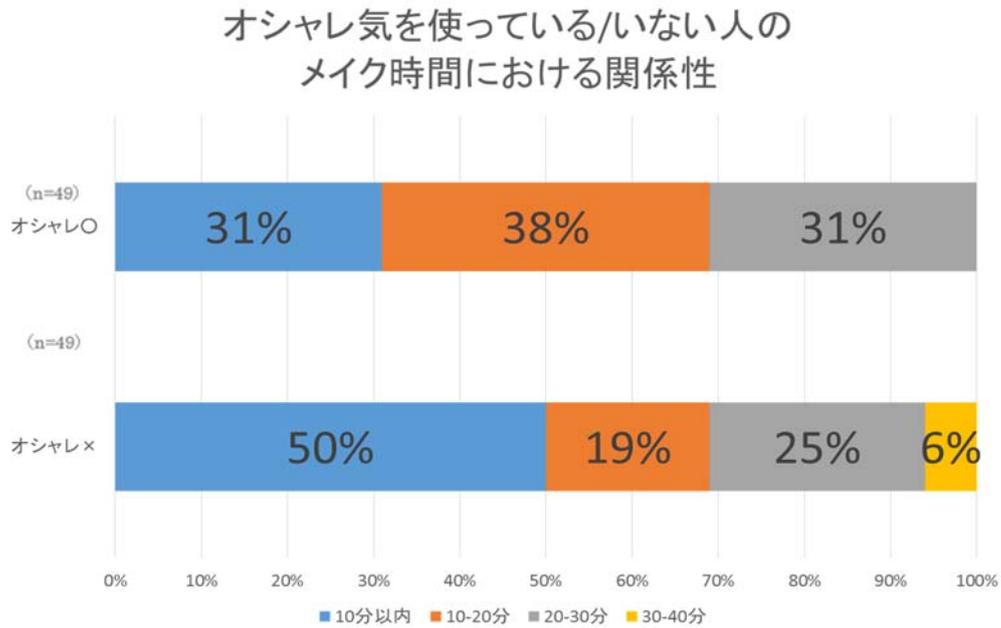
【図 4-2】 実践女子大生におけるファッション雑誌を定期的に見ている（実態）（n=49）【SA】



【図 4-3】 実践女子大生における化粧にかかる時間（実態）（n=49）【SA】



【図 4-4】化粧に気がつかっている/いない実践女子大生におけるメイク時間の関係性 (n=49)



【図 4-5】ファッション雑誌を定期購入する/しない実践女子大生におけるメイク時間の関係性

(n=49)

